

緊プロⅢ型ノズルの病害虫防除効果

研究のねらい

農薬の飛散防止対策として、農業機械等緊急開発事業（緊プロ）および各防除機器メーカーより開発された薬剤散布用飛散低減ノズルについて、キャベツにおける病害虫防除効果を検討しました（写真）。

技術の特徴

1 調査方法

緊プロで開発されたⅢ型ノズル（ヤマホ）をはじめ、各防除機メーカー開発のキリナシES（共立）、エコシャワーB（丸山）について、慣行ノズルを対照に調査しました。



写真 各種ノズルによる散布の様子
（左から 慣行、キリナシES、緊プロⅢ型）

(1) キャベツの病害に対する防除効果

キャベツの主要病害に対する防除効果は、各飛散低減ノズルとも、慣行ノズルと同程度の防除効果が認められました（図）。

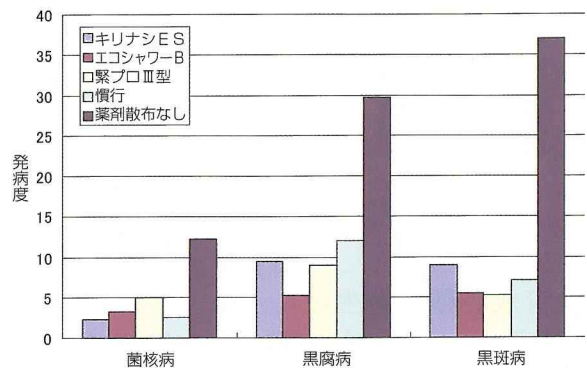


図 ノズルによる防除効果のちがい

(2) キャベツの主な害虫に対する防除効果

各飛散低減ノズルをコナガ、タマナギンウワバ、アブラムシを対象に防除効果の検討を行いました。その結果、各飛散低減ノズルとも、慣行ノズルと同程度の防除効果が認められました（表）。

表 キャベツ収穫時の害虫被害

区分	被害度	防除価	可販率(%)
キリナシES	63.3	25.5	100
エコシャワーB	69.2	18.6	93
緊プロⅢ型	65.0	23.5	100
慣行	68.5	19.4	100
薬剤散布なし	85.0	—	53

注) 被害度、防除価については、日植防の算定方法に準拠した

2 結果

今回供試した緊プロⅢ型ノズル、および各防除機メーカーで開発した飛散低減ノズルは、キャベツ栽培において慣行ノズルと同程度の防除効果が期待できることが明らかとなりました。

今後の取り組み

現場と連携を取りながら、農薬の飛散防止対策の普及・推進に努めます。

（執筆者：小林 逸郎）